

# もち<sup>2</sup>×スマ もちもちの木smile

平成29年1月号  
今年もどうぞ  
よろしくお願い致します



トピックス!



創立15周年記念フォーラムのご報告!

## ごあいさつ

寒中お見舞い申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

理事長 竹中庸子

旧年中は大変お世話になりました。

国連の推計によれば、2050年までに日本の100歳以上人口は100万人を突破する見込みだそうです。2007年に日本で生まれた子どもの半分は107歳以上まで生きると予測されています。

100年時代へ向かい、もちもちの木はすべての世代にとって長寿が大きな恩恵となり創造的に生きる機会となるよう、新しい視点で事業を創造し情報発信いたします。

皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げますと共に本年も変わらぬご厚誼の程、宜しく申し上げます。

平成29年1月

## ご案内

### 1. 赤い羽根共同募金「社会課題解決プロジェクト」に参加いたします!

収益金は「戦前からの文化の継承」「高齢者・若年性認知症の方やひきこもり・ニートの青年の仕事づくり」「多世代が暮らすライフスタイルの再構築」に活用します。温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

(平成29年3月31日まで)

昨年度参加の地域テーマ募金は、みなさまのご協力のおかげで募金額1,473,374円(86件)、目標額の98.2%を達成いたしました。誠にありがとうございました。もちもちの木では、このご寄付で下記のような活動を実施いたしました。

### 地域テーマ募金を活用したおもな事業

#### 古田のおうち

- \* 古田地域食堂
- \* 古田ママの会
- \* もちもちオレンジCafe (認知症カフェ)
- \* 多世代寺子屋



#### 庚午のおうち

- \* 庚午カフェ
- \* もちもちの子こご
- \* スマートブックカフェ
- \* よるのちょうない会
- \* おうちのじかん



### 2. 土橋のおうちから「ことごと@」が動きだしました。

デイサービス土橋のおうちから、利用者さんの丁寧な縫製が魅力のハンドメイドブランド「ことごと@」が誕生しました。

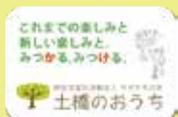
商品は、土橋のおうちオープンスペースで販売しています。

ぜひ、ご覧になってみてください。



もちもちの木各事業所のwebサイトが完成しました!!

- 法人サイト ▶ <http://mochi2.wpblog.jp/>
- 土橋のおうち ▶ <http://dobashimc2.wpblog.jp/>
- 古田のおうち ▶ <http://hurutamc2.wpblog.jp/>
- 庚午のおうち ▶ <http://kougomc2.wpblog.jp/>



もちもちの木は、gooddoに参加しています。パソコンやスマホをお持ちの方は、ぜひご支援を!!

\* 右のQRコードを読み取り、または、「グッドゥ もちもちの木」で検索!「応援をする」をクリックするだけで、ご支援いただけます。



無料で簡単に活動を支援して頂けます!

gooddo

もちもちの木 創立15周年記念フォーラム  
「はたらき かがやいて くらす  
— はかくに生きる挑戦者たち！」 ご報告

去る2016年11月19日、広島市西区の古田公民館にてもちもちの木 創立15周年記念フォーラムを開催しました。

記念講演「認知症になっても、はたらき、かがやいて、くらせる、デイサービス革命」

講師は、NPO町田市つながりの開 理事長 前田隆行さん。認知症本人の「働きたい」「社会の役に立ちたい」という想いの実現に取り組む次世代デイサービス『DAYS BLG!』についてお話いただきました。

同デイサービスでは、「家庭」や「会社」以外の居場所づくりのほか、問屋の仕事や商品開発、認知症を知ってもらうための紙芝居ボランティアなど、いろんな「働く」を提供。さらに、日々の生活のしにくさを、当事者達と一緒に変えていく活動も行っています。

一例に、ある認知症の利用者から、「買い物か面倒臭い」という発言がありました。その言葉の裏の本当の理由は、小銭の計算が難しくなったことが原因で、レジで後ろの人を待たせてしまうというプレッシャーでした。

そこで、地域のスーパーにちょっとした工夫を提案し実現させました。それは、レジのうち1つを、「ゆっくり支払いできる専用レジ」にするというもの。「安心して暮らせる地域に」と活動を続けています。

トークセッション「デイサービス革命から地域革命へ」



トークセッションの様子

進行役は前田さん。パネリストに、介護福祉分野から当法人理事長の竹中、民間企業から児玉さん、認知症当事者の竹内さんにご登壇いただき、高齢者も



前田隆行さんの記念講演の様子

支え手になる将来、社会参加の必要性と、どうすれば地域革命が起こせるのか、それぞれの立場から意見交換を行いました。

まず、はじめの一步として、先の講演にもあった「ゆっくり支払いできる専用レジ」をはじめよう、と当法人竹中からコメント。そして『認知症になったらおしまい』という固定概念を社会から変えていくことや、認知症や高齢者の方が働くことに関して、「少しの工夫で仕事ができるようになる。その人ごとの働きかたを提案するジョブコーチまたはサポーターなどの専門職が必要」と新しい取り組み方法を提案しました。

民間企業の児玉さんは「認知症の方でも高齢者の方でも、たくさん雇用することを積極的に考えたい」とのこと。「経験が非常に役立つ。『何歳だが、何々ができます』と自信をもって応募してもらうと企業も安心して雇用しやすい。必ずできる仕事はある」と、働く意欲が重要という意見をいただきました。

59歳の時に若年性認知症と診断を受けた竹内さんからは、「『この人にきけば安心、教えてくれる』という町になってほしい。」とサポートのあり方を提案。

高齢・認知症だから「何もできない」ことはない。いろんなことが「できる」ということをお伝えし、フォーラムは好評のうちに閉会しました。

もちもちの木からのお知らせ

もちもちの木は、どこにもない自由度の高い多様な暮らしを  
デイサービスやグループホームにおいてデザインしています。

昼食代600円だけで、デイサービス体験ができます！

デイサービス土橋のおうち／古田のおうち

地域密着型通所介護（定員13名）  
送迎範囲：広島市内  
利用料金：介護保険の自己負担金（1～2割）  
昼食代600円

若年性認知症の方の受け入れも行なっています。高齢者とは一線を画して、仕事につながる活動を一緒に模索していきます。

- ・認知症の症状を和らげる
- ・病気の心配事
- ・介護をしているご家族もどうやったら元気で過ごせるか？

多職種医療連携の情報提供を軸に、これからを予測して予防するための具体的な個別計画を作成して実施いたします！



土橋のおうち  
TEL:082-294-9346

古田のおうち  
TEL:082-272-2701

みんながふつうに くらせるしあわせを 食べることを大切にしながら 守っていきたくて考えています



特定非営利活動法人  
もちもちの木

～優しい心～ 迷ったり 探さぬよう そばにいるよ

【本 部】 土橋のおうち 中区土橋町5-35  
TEL:082(294)9346 FAX:082(294)9328  
MAIL:mochimochi.npo@gmail.com WEB:http://mochi2.wpblog.jp/  
◎古田のおうち 西区古江新町8-32 TEL:082(272)2701  
◎庚午のおうち 西区庚午中一丁目9-11※お問い合わせは古田のおうち